

# 進路だより

豊中市立第十三中学校

令和3年(2021年)4月16日(金) No.1

新年度が始まり、1週間が経ち、クラス委員や係も決まり、授業が始まりました。もう新しいクラスには慣れましたか？

中学校生活最後の1年間が始まりました。来年の3月にはみなさんは十三中を卒業します。小学校の卒業と、中学校の卒業の大きな違いは「義務教育の終わり」というところです。1年後にみなさんは十三中にはいません。では、どこで何をしているのか？卒業後の進路を、この1年間考えて決めていかなければなりません。

では、「進路を考える」って何をすればいいのか？将来の目標に向かって動き出すのは、夏休みに入ってからになります。具体的な進路決定までのプロセスは、また時間を取ってお話します。では、夏休みまで何もなくていいのか？そういう訳ではありません。学年集会でも話しましたが、下の3つのことを1学期には取り組んでほしいと思います。

## 勉強する習慣をつける

みなさんが勉強する場面は、学校の授業や家庭学習など、多々あるかと思います。テスト前や、学校の授業でしか勉強しない人は、毎日家庭学習に取り組む習慣をつけてください。夏休み中に引退するクラブが多いと思いますが、それまでは部活動も最後までやり切ってほしいと思います。部活を引退してから、スムーズに勉強中心の生活に切り替えられるように、毎日勉強する習慣を今からつけましょう。

## 情報をしっかりキャッチする

進路に関する情報は、この「進路だより」のように手紙で配布します。学校からたくさん手紙が配られますが、進路の手紙は必ず保護者に渡す前に自分で読んでください。また、教室に高校のパンフレットを設置し、ポスターを廊下に貼ります。自ら進んで情報をキャッチしてください。

## 提出物の期限を守る

この1年間、進路に関する提出していただかなければいけない書類がたくさんあります。中には、一人でも提出が遅れると十三中全体の進路に関する業務が止まってしまうものもあります。必ず提出期限を守ってください。

43期生の皆さん全員が力で自分の進路を考え、一人ひとりが胸をはって自分の選んだ道に向かって進んでくれることを、心から願っています。1年間、よろしくお願いします。

(進路担当 )